

登別山岳会50周年記念登山

白樺山ーシャクナゲ岳

R2年7月12日(日) 曇り

参加者 小山内(CL) 藤木た(SL) 近藤(SL) 佐藤、森永、及川、本野、川村(純) 津川、谷、小笠原、竹内、

6:45 新見峠着 → 7:5 登山開始 → 8:11 白樺山着
10:52 シャクナゲ岳 → 11:20下山開始 → 14:8 登山口

この日の天気予報は曇り、各班共雨にあらず下山出来たらと、願いながらの出発となった。

今日一つ目の山頂、白樺山に向け一歩また一歩、曇りで風が無く蒸し暑い感じでしたが、ゆっくり登りが始まった。

何種類かの高山植物が綺麗に可愛く咲いていて、名前を聞いても少し歩くと見事に忘れてしまう??

困ったもんだと言いながら、又この花達にあいたいなあ～
約1時間6分で第一目標の白樺山に到着 「眺望無し」



わたし新人なもんで、へ～こら、へ～こら～
苔むした岩の斜面が長いなのなんのって思わず、ずっと岩なの??って～それで滑ったりしてケガしない様に注意しながら先に進み、どうにかこうにかシャクナゲ岳到着!
またしても「眺望無し」



皆が満足し、感動した山行となりました。

リーダーの小山内さん本当に、お世話になり有難うございました。



ここで2名勇気ある撤退となりました。

残りメンバーはこの先に出てくる岩場の登りをまだ知らないまま、シャクナゲ沼に下って行く、沼に到着、落ちて濡れないよう回り込み、シャクナゲ岳への登りが始まった。

下りが有ったら当然登りが有る、当たり前的事だけど、これが結構 「キツイ」



苦勞して登った身体を、いたわる様に腰を下ろし昼食タイム、おしゃべりしながらの食べる御飯は最高に美味しい、あつと言う間に休憩時間も終わり下山となる。

当然の事ながら、あの大変な思いで登った岩場を今度は下る、当たり前の事と解かっているも「シンドイ」

心地良い疲れの中、登山口に到着。

登山開始から休憩時間を含め7時間、予定より30分程の遅れでしたが元気に帰ってきました。

久しぶりの山行の方々もいて「楽しかった」と何度も・・・

本当に楽しい岩登り・・・あれ～? (笑)

記録 竹内 玲子

編集 1730